

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	国語			科目名	文学国語					D	学	進	文	理	文	理	護		第1 学期	[桜の中で、時が重なり合う] 平野啓一郎		2	
単位数	2	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →												●		第2 学期	「赤い繭」		3
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																							
① 文学国語（大修館書店） ② 文学国語学習ノート（大修館書店） ③ 常用漢字ダブルクリア（尚文出版） ④																							
学 習 の 重 点 目 標																							
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。																							
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第3 学期	4月 ～ 5月	★中間考査								
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来 授業で学習した内容・漢字・リテラス検定についての小テストを実施				①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施						「鍋セット」		6						
															「藤」		5						
評 価 の 基 準																		第3 学期		6月 ～ 7月	★期末考査		
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				「待つ」		5								
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解できている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。				定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。				「物語る声を求めて」		6								
															★中間考査								
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができる。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。				探究的な課題やグループ活動にあまり組むことができていない。				「冥途」		6								
													★期末考査										
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				「遊びの伝統」		6								
													★期末考査										
総 時 間 数																		49					

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	地理歴史			科目名	歴史総合					D	学	特	進	進	特	特	護		第1学期	4月 5月 6月 7月		第1部 近代化と私たち 1 18世紀の世界とアジア 2 産業革命 3 アヘン戦争と日本 4 日本の開国 5 日本開国期の国際情勢 6 開国後の日本社会 7 市民革命と国民統合 8 明治維新 中間考査
単位数	2	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →																
教科書・副教材・(発行所)																						
① 歴史総合 わたしたちの歴史 日本から世界へ (山川出版)																						
②																						
③																						
④																						
学 習 の 重 点 目 標																						
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																						
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	12月 1月 2月 3月	第3学期	総 時 間 数	56					
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施				①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価				①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価													
評 価 の 基 準																						
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)				第3学期	2月 3月								
					B+		B-															
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。													
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。													
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。				各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。				各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。													
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。													
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。													

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	数学		科目名	数学探究												第 1 学 期	4 月 ～ 5 月		※2年次に引き続き数学Aの内容 第1章 場合の数と確率 第4節 いろいろな確率 3. 条件付き確率 第2章 図形の性質 第1節 三角形の性質 ★中間考査
単位数	3	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →								●	第 1 学 期	6 月 ～ 7 月	第2節 円の性質 ※ 実習のため期末考査は実施しない。	16	
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																第 2 学 期	8 月 ～ 9 月	第3節 空間図形 第3章 数学と人間の活動 プリント(看護における数学) ★中間考査	19
① 教科書：新編数学A（啓林館：数A710） ② 問題集：ステップアップノート数学A（啓林館） ③ 補助教材：国試に向けた計算プリント ④																	10 月 ～ 11 月	プリント(看護における数学) ★期末考査	21
学 習 の 重 点 目 標 ①数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 ②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																	12 月 ～ 1 月	プリント(看護における数学) ★期末考査	13
															2 月 ～ 3 月				
															総 時 間 数		82		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	理科		科目名	生物			単位 数	5	学科										看護科	学年	
教科書・副教材・（発行所）																					
① 高校生物・生物エブリィノート・アクセスノート生物・（実教出版）																					
②																					
③																					
④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を化学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す																					
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第 2 学 期	8 月 ～ 9 月	3章1節 遺伝情報とその発現 3章2節 遺伝を扱う技術 3章3節 遺伝を扱う技術 【中間考査】		11 10 10 1				
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小テストを実施				①課題レポートの内容 単元毎に探究課題を実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてのグループ活動及び発表を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 単元毎に自己評価・振り返りを実施												
評 価 の 基 準																					
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				第 3 学 期	10 月 ～ 11 月	4章1節 動物の反応 4章2節 動物の行動 4章3節 植物の成長と環境応答 【期末考査】		12 11 11 1				
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり，基本から発展まで万遍なく理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり，基本的な知識や概念があまり理解できていない。												
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み，自分の考えを発表したり，適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み，ある程度自分の考えを述べたり，表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。				第 3 学 期	12 月 ～ 1 月	5章1節 個体群と生物群集 5章2節 生態系 【期末考査】		11 10 1				
	発展的な内容も意欲的に学習し，身近な事物・現象に対し科学的な見方や考え方が身についている。				発展的な内容も学習し，ある程度の科学的に見方や考え方が身についている。				発展的な内容を学習することができていない。												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む，グループ活動においても積極的に発言できている。				真面目に学習に取り組んではいるが，もう少し積極性を要する部分がある。				学習面・活動面においてもあまり取り組む気持ちがでない。				2 月 ～ 3 月								
	振り返るべき内容をきちんと考え，次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容は考えられているが，次の取り組みに活かすことがあまりできていない。				振り返るべき内容をあまり考えられていない。												
総 時 間 数																		134			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	外国語【英語】		科目名	英語コミュニケーションⅡ						D	学	特	進	進	特	特	看		第1学期	Optional Lesson 1		10	
単位数	3	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →												●		学 期	4月 ～ 5月	中間 考査	1
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																							
① LANDMARK Fit English Communication Ⅱ（啓林館） ② LANDMARK Fit English Communication Ⅱ Workbook（啓林館） ③ ④																		学 期		6月 ～ 7月	Optional Lesson 2	5	
学 習 の 重 点 目 標																							
外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。																		学 期		8月 ～ 9月	Optional Lesson 2 中間 考査	18 1	
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度																
評価の趣旨	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出题する。			ペアワークでの積極的な活動、英作文の仕上がりなどを評価する。			日常の学習態度、出席状況、課題や提出物、小テストの出来具合により評価を行う。																
	評 価 の 基 準																						
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）						学 期	10月 ～ 11月	Reading 期 末 考 査	19 1							
				B＋		B－																	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。						学 期	12月 ～ 1月	スピーチ ディスカッション 期 末 考 査	5 5 1						
思・判・表	ペアワーク活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。 英作文や応用的な問題にも計画的に取り組む、適切に表現し理解することができている。			ペアワーク活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり表現することができている。 英作文や応用的な問題にも取り組み、ある程度表現し理解することができている。		ペアワーク活動にあまり取り組むことができていない。 英作文や応用的な問題にあまり取り組むことができていない。																	
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができている。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。						学 期	2月 ～ 3月									
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することができているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。																
総 時 間 数																		66					

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	保健体育		科目名	体育（女）												学 習 内 容		
単位数	3	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →								●	第1 学期	4月 ～ 5月	7	
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																6月 ～ 7月	9	
① 現代高等保健体育（大修館書店） ② Active Sports2022〔総合版〕（大修館書店） ③ ④																8月 ～ 9月	13	
学 習 の 重 点 目 標																10月 ～ 11月	15	
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。 公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。															第2 学期	12月 ～ 1月	10	
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			2月 ～ 3月	9							
	①各種の運動ごとに実施する実技テスト（記録）の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③3学期のみ定期考査の出来具合			①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み			①授業中の態度や意欲 ②授業への準備（服装・体操）に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度			総 時 間 数	64							
	評 価 の 基 準																	
知・技	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）			第3 学期	2月 ～ 3月	9						
思・判・表	実技テストと新体力テストの合計が80点以上であり基本的な技術が習得できている。 3学期のみ実技テストと			実技テストと新体力テストの合計が55～79点である。 3学			実技テストと新体力テストの合計が30～54点である。 3			第3 学期	2月 ～ 3月	9						
	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。 応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。 真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。 あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。											
主体性・態度	運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができる。			真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考え			第3 学期	2月 ～ 3月	9						

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	進	特	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	看護			科目名	病の成り立ちと回復の促進（病態生		D	学	進	文	理	文	理		第1学期	4月 ～ 5月	第1章 基礎知識 A、腎・泌尿器のしくみとはたらき B、症状とその病態生理	2 2	
単位数	1	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →													
教科書・副教材・（発行所）																			
① 新看護学1 1 成人看護【3】 腎泌尿器・女性生殖器・アレルギー・膠原病・感染症 ② ③ ④																第2学期	6月 ～ 7月	第1章 基礎知識 C、診察・検査とその介助	2
学 習 の 重 点 目 標																			
①腎泌尿器の基礎知識を理解する ②腎泌尿器の主な疾患を理解する ③腎泌尿器疾患 の看護を理解する																			
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度								第2学期	8月 ～ 9月	第1章 基礎知識 D、検査・処置とその介助 E、おもな手術 第2章 主な疾患 A、腎臓・尿管の疾患 B、膀胱の疾患	2 4	
評価の趣旨	①定期考査 1学期・・・中間 考査80点 2学期・・・中間考査40点 期末 考査40点 3学期・・・中間考査80点 ②確認テ			①課題の内容 ②グループワー ク・発表の内容 探求 改題についてGWを実施			①事業中の態度や意欲 ②提出物の内容 事業プリン ト・ワークプリント・テスト等 は指定通りとじる ③ふり返り 単元毎に実施する自己評価や												
	評 価 の 基 準																		
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況） B＋ B－			C（努力を要する状況）								第2学期	10月 ～ 11月	第2章 主な疾患 C、尿道の疾患 I、尿路結石症 D前立腺の疾患 J、性感染症	7	
知・技	定期考査と確認テストの合計得 点が80点以上であり、基本的な 知識の理解ができている			定期考査と確認 テストの合計得 点が55～79点で ある			定期考査と確認 テストの合計点 が30～54である			定期考査と確認テストの合計得 点が30点未満であり、基本的 な知識の理解できていない									
思・判・表	課題に積極的に取り組み、自分 の考えを発表したりわかりやす くまとめることができる			課題に取り組み、ある程度自分 の考えを述べたり、伝えること ができる			課題にあまり取り組むことがで きない										第3学期	12月 ～ 1月	第3章 患者の看護 A、共通する看護 B、症状に対 C、検査を受ける患者の看護 D、検査・処置を受ける患者の看護 E、腎疾患患者の看護 F、泌尿器疾患患者の看護
	グループワークに積極的に取り 組み、自分の考えを発表したり わかりやすくまとめることがで きる			グループワークに取り組み、あ る程度自分の考えを述べたり、 伝えることができる			グループワークにあまり取り組 むことができない												
主体性・態度	予習・復習に取り組み、授業にも 積極的に発言し参加できる			予習・復習に取り組み、授業に参 加できている			予習・復習に取り組み、授業に参 加できていない								第3学期	2月 ～ 3月			
	毎時間にふり返りができ、授業 のポイントについて適切な内容 を表現することができる			授業の内容についてふり返りが できている			授業の内容についてふり返りが できていない												
総 時 間 数																	24		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容			時数
教科名	看護		科目名	健康支援と社会保障制度			学 習 内 容															
単位数	2	学科	看護科	学年	3 年	該当するコース・科 →										●	第 1 学 期	4 月 ～ 5 月	公衆衛生 第1章 公衆衛生とは	3		
																			社会福祉 第1章 現代社会における社会福祉の意味	4		
教科書・副教材・(発行所)																			中間考査	1		
① 看護学入門5 保健医療福祉のしくみ(メジカルフレンド社) ② ③ ④																			公衆衛生 第2章 環境と生体	3		
学 習 の 重 点 目 標																			社会福祉 第2章 社会福祉の発展	2		
看護の見方・考え方を働かせ、健康支援と社会保障制度に関する実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、看護の実践に必要な資質・能力を次の通りに育成することを目指す。 (1) 健康支援と社会保障制度について体系的・系統的に理解するようにする。 (2) 基本的な課題を発見し、看護倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) よりよい看護実践を目指して自ら学び、多様な人々の健康																		期末考査	1			
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第 2 学 期	8 月 ～ 9 月	公衆衛生 第2章 環境と生体 第3章 疾病の予防	7									
	①定期考査 1学期・・・中間考査80点			①課題(ワークプリント)の内容 単元ごとに授業内容に関する課題 (ワークプリント)を実施・提出 ② グループワーク・発表の内容 探究課題についてグループワークを実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント、ワークプリントは 指定通りファイルに綴じる ③ふり返り 授業後に実施する自己評価やふり返り、課題の提出状況を評価(ブレンド配信)					社会福祉 第3章 社会福祉制度と実施体制	7									
												中間考査										
												公衆衛生 第3章 疾病の予防 第4章 人口と衛生統計	6									
												社会福祉 第4章 社会福祉の援助とソーシャルワーク 第5章 社会保険と関連制度	8									
知・技	定期考査と確認テストの合計得点が80点以上であり、基本的な知識の理解することができている。			定期考査と確認テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と確認テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と確認テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。				10 月 ～ 11 月	期末考査	1						
思・判・表	課題に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすくまとめることができる。			課題に取り組む、ある程度自分の考えを述べたり、まとめることができる。			課題に取り組む、ある程度自分の考えを述べたり、まとめることができる。			課題にあまり取り組むことができていない。			第 3 学 期	12 月 ～ 1 月	公衆衛生 第5章 保健活動	6						
	グループワークに積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすく伝えることができる。			グループワークに取り組む、ある程度自分の考えを述べたり、伝えることができる。			グループワークに取り組む、ある程度自分の考えを述べたり、伝えることができる。			グループワークにあまり取り組むことができていない。					社会福祉 第6章 これからの社会福祉	4						
主体性・態度	予習・復習に取り組む、授業にも積極的に発言し参加できている。			予習・復習に取り組む、授業に参加できている。			予習・復習に取り組む、授業に参加できている。			予習・復習・授業にあまり取り組むことができていない。				2 月 ～ 3 月	期末考査	1						
	毎時間ふり返りができ、授業のポイントについて適切な内容を表現することができている。			授業の内容についてふり返りができている。			授業の内容についてふり返りができている。			授業の内容についてふり返りができていない。			総 時 間 数			54						

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	看護		科目名	基礎看護												学 習 内 容			
単位数	3	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →								●	第1学期	4月 ～ 5月	a：第1章 看護とは 臨実Ⅱ：実習準備（事例展開） 中間考査	4 10 1	
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																6月 ～ 7月	a：第2章 看護の対象の理解力 臨実Ⅱ：実習前指導 実習の振り返り	4 6	
① 系統看護学講座 専門分野 看護学概論 基礎看護学Ⅰ（医学書院） ② 患者さんの情報収集ガイドブック（メヂカルフレンド社） ③ 看護学生のためのレポート＆実習記録の書き方（メヂカルフレンド社） ④ 看護学生のための臨地実習ナビ（照林社）																			
学 習 の 重 点 目 標																			
看護の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、看護の実践に必要な資質・能力を次の通りに育成することを目指す。																			
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度						第2学期	8月 ～ 9月	a：第3章 国民の健康状態と生活 第4章 看護の提供者 臨実Ⅱ：アレルギー・膠原病患者の看護 中間考査	3 3 10 1	
評価の趣旨	①定期考査 1学期…中間考査80点 2学期…中間考査40点 期末考査40点 3学期…期末考査80点 ②確認テスト20点				①事例記録や課題の内容 ②グループワーク・発表の内容 探究課題についてグループワークを実施				①授業中の態度や意欲 ②課題の提出状況 ③ふり返り 毎時間ごとにBLENDを活し、「学びのポイント」や「自己評価」、「自己課題」を記入										
評 価 の 基 準																			
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）						第3学期	10月 ～ 11月	a：第5章 看護における倫理 第6章 看護の提供のしくみ 臨実Ⅱ：感染症患者の看護 期末考査	3 4 12 1	
知・技	定期考査と確認テストの合計得点が80点以上であり、基本的な知識の理解することができている。				B＋		B－		定期考査と確認テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。										
思・判・表	課題に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすくまとめることができる。				課題に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、まとめることができる。				課題にあまり取り組むことができていない。							12月 ～ 1月	a：第7章 広がる看護の活動領域 臨実Ⅱ：眼疾患患者の看護 耳鼻咽喉疾患患者の看護 歯・口腔疾患患者の看護 期末考査	4 9 1	
															グループワークに積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすく伝えることができる。				グループワークに取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、伝えることができる。
予習・復習に取り組み、授業にも積極的に発言し参加できている。				予習・復習に取り組み、授業に参加できている。				予習・復習に取り組むことができず、授業への参加も積極的ではない。						2月 ～ 3月					
															毎時間ふり返りができ、授業のポイントについて適切な内容を表現することができている。				授業の内容についてふり返りができている。
総 時 間 数																			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	看護		科目名	在宅看護												学 期	学 習 内 容			
単位数	1	学科	看護科	学年	3 年	該当するコース・科 →								●	第 1 学 期	4 月 ～ 5 月	人々の暮らしと地域・看護 ・人々の暮らしの理解 ・地域・在宅看護の役割	3		
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																第 2 学 期	6 月 ～ 7 月	暮らしの基盤としての地域の理解 ・暮らしと地域 ・暮らしと地域を理解するための考え方 ・地域包括システムと地域共生社会 （演習・ワークシート）	3	
学 習 の 重 点 目 標																	第 3 学 期	8 月 ～ 9 月	地域社会による多様性 ・家族の理解 （演習・ワークシート） 中間検査	1
看護の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、在宅看護の実践に必要な資質・能力を次の通りに育成することを目指す。 （１）在宅看護について体系的・系統的に理解をするとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 （２）在宅看護に関する多様な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。 （３）在宅看護の実践を自ら学び、在宅療養者の健康の保持増進に主体的に取り組む能力を養う。																		10 月 ～ 11 月	地域社会による多様性 ・地域に暮らす対象者の理解と看護 （演習・ワークシート） 地域における暮らしを考える ・暮らしを支える看護 ・暮らしの環境を整える看護 期末検査	7
															第 3 学 期			12 月 ～ 1 月	地域における暮らしを考える ・広がる看護の対象と提供方法 ・地域における家族への看護 ・地域におけるライフステージに応じた看護 ・地域での暮らしにおけるリスクの理解 ・地域での暮らしにおける災害対策 期末検査	6
																2 月 ～ 3 月			1	
																総 時 間 数		29		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看護	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	看護			科目名	成人看護					D	学	特	進	進	特	特	看護		第1学期	内分泌・代謝疾患患者の看護 第1章 基礎知識		5	
単位数	4	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →												●		学 期	4月 5月	脳・神経および運動器疾患患者の看護 第1章 基礎知識（しくみとはたらき）	7
教科書・副教材・（発行所）																		① 新看護学10 成人看護〔2〕血液・造血器 内分泌・代謝 脳・神経 運動器 ② ③ ④			第1学期	6月 7月	中間考査
学 習 の 重 点 目 標																		成人期にある対象の生活、保健および疾病について理解させ、成人看護に関する知識と技術を習得させるとともに、その看護を行うために必要な基礎的な能力と態度を育てる。		第1学期		6月 7月	内分泌・代謝疾患患者の看護 第2章 主な疾患
																		脳・神経および運動器疾患患者の看護 第1章 基礎知識（症状とその病態生理）	5				
評価の趣旨	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度					第2学期	8月 9月	内分泌・代謝疾患患者の看護 第3章 患者の看護	8						
	①定期考査 1学期…中間考査80点 2学期…中間考査40点 期末考査40点 3学期…期末考査80点 ②確認テスト20点 前回の授業内容について出題				①課題の内容 单元ごとに授業内容に関する1課題を実施・提出 ②グループワーク・発表の内容 探究課題についてグループ11ワークを実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業ノート、ファイル、課題は指定通りに綴じる。 授業ノート、ファイルの提出。 ③ふり返り 定期考査後に行う自己評価やふり返り、課題の提出状況を評価						11月	脳・神経および運動器疾患患者の看護 第1章 基礎知識（おもな診察・検査）	11						
															中間考査	1							
															10月 11月	血液・造血器疾患患者の看護 第1章 基礎知識 第2章 おもな疾患 脳・神経および運動器疾患患者の看護 第1章 基礎知識（おもな治療）	13 14						
評 価 の 基 準																		第2学期	期末考査	1			
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）					第2学期	12月 1月	血液・造血器疾患患者の看護 第3章 患者の看護	9						
					B＋ B－										9月	脳・神経および運動器疾患患者の看護 第2章 おもな疾患	9						
知・技	定期考査と確認テストの合計得点が80点以上であり、基本的な知識の理解することができている。				定期考査と確認テストの合計得点が55～79点である。				定期考査と確認テストの合計得点が30～54点である。					第2学期	2月 3月	期末考査	1						
															12月 1月	血液・造血器疾患患者の看護 第3章 患者の看護	9						
思・判・表	課題に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすくまとめることができる。				課題に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、まとめることができる。				課題にあまり取り組むことができていない。					第3学期	2月 3月	脳・神経および運動器疾患患者の看護 第2章 おもな疾患	9						
	グループワークに積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすく伝えることができる。				グループワークに取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、伝えることができる。				グループワークにあまり取り組むことができていない。						12月 1月	血液・造血器疾患患者の看護 第3章 患者の看護	9						
主体性・態度	予習・復習に取り組み、授業にも積極的に発言し参加できている。提出物を毎回期日までに提出する。				予習・復習に取り組み、授業にも積極的に参加できている。促すと提出物を出すことができる。				グループワークにあまり取り組むことができていない。提出物を出すことができない。					第3学期	2月 3月	期末考査	1						
	毎時間ふり返りができ、授業のポイントについて適切な内容を表現することができている。				授業の内容についてふり返りができている。				授業の内容についてふり返りができていない。						2月 3月	血液・造血器疾患患者の看護 第3章 患者の看護	9						
総 時 間 数																		92					

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看護	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	看護			科目名	小児看護					D	学	特	進	進	特	特	看護	第1学期	I 小児看護の基本	4			
単位数	1	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →													中間考査	1			
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																							
① 看護各入門12 母子看護																							
②																							
③																							
④																							
学 習 の 重 点 目 標																							
看護の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、小児看護の実践に必要な資質・能力の育成をめざす。																							
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度														
評価の趣旨	①定期考査				①課題（ワークプリント）の内容 単元ごとに授業内容に関する課題（ワークプリント）を実施・提出 ②グループワーク・発表の内容 探究課題についてグループ				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント等は指定通りファイルに綴じる ③ふり返り 定期考査後に実施する自己評価やふり返り、課題の提出状況を評価														
評 価 の 基 準																							
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）														
					B＋				B－														
知・技	定期考査と確認テストの合計得点が80点以上であり、基本的な知識の理解することができている。				定期考査と確認テストの合計得点が55～79点である。				定期考査と確認テストの合計得点が30～54点である。				定期考査と確認テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。										
思・判・表	課題に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすくまとめることができる。				課題に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、まとめることができる。				課題にあまり取り組むことができていない。														
	グループワークに積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすく伝えることができる。				グループワークに取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、伝えることができる。				グループワークにあまり取り組むことができていない。														
主体性・態度	予習・復習に取り組み、授業にも積極的に発言し参加できている。				予習・復習に取り組み、授業に参加できている。				予習・復習に取り組むことができず、授業への参加も積極的ではない。														
	毎時間ふり返りができ、授業のポイントについて適切な内容を表現することができている。				授業の内容についてふり返りができている。				授業の内容についてふり返りができていない。														
総 時 間 数																				28			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看護	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	看護			科目名	母性看護					D	学	特	進	進	特	特	看護		第1学期	第1章 母性看護概論		3	
単位数	1	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →												●		学 期	4月 ～ 5月	中間 考 査	1
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																		第2学期			6月 ～ 7月		第2章 正常な妊婦、産婦、褥婦および新生児の理解
① 看護学入門1 2 母子看護 母性の看護（メヂカルフレンド社） ② ③ ④																			第3学期		8月 ～ 9月	第2章 正常な妊婦、産婦、褥婦および新生児の理解	6
学 習 の 重 点 目 標																				学 期		10月 ～ 11月	中間 考 査
看護の見え方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して母性看護の実践に必要な資材・能力を目ざす。 （1）母性看護の実践について体系的・統計的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 （2）母性看護の多様な課題を発見し、看護の職業論理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養																		第4学期					12月 ～ 1月
評価の趣旨	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第5学期	2月 ～ 3月	総 時 間 数	28							
	①定期検査 1・2学期…中間検査40点 期末検査40点 3学期…期末検査80点 ②確認テスト20点 前回の授業内容について出題				①課題の内容 单元ごとに授業内容に関する課題を実施・提出 ②グループワーク・発表の内容 探究課題についてグループワークを実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業ノート、ファイル、課題は指定通りに綴じる。 授業ノート、ファイルの提出。 ③ふり返り 定期検査後に行う自己評価やふり返り、課題の提出状況を確認														
評 価 の 基 準																		第6学期	3月 ～ 4月	総 時 間 数	28		
知・技	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）														
					B＋		B－																
知・技	定期検査と確認テストの合計得点が80点以上であり、基本的な知識の理解することができている。				定期検査と確認テストの合計得点が55～79点である。				定期検査と確認テストの合計得点が30～54点である。				定期検査と確認テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。										
思・判・表	課題に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすくまとめることができる。				課題に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、まとめることができる。				課題にあまり取り組むことができていない。														
	グループワークに積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすく伝えることができる。				グループワークに取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、伝えることができる。				グループワークにあまり取り組むことができていない。														
主体性・態度	予習・復習に取り組み、授業にも積極的に発言し参加できている。提出物を毎回期日までに提出する。				予習・復習に取り組み、授業にも参加できている。促すと提出物を出すことができる。				グループワークにあまり取り組むことができていない。提出物を出すことができない。														
	毎時間ふり返りができ、授業のポイントについて適切な内容を表現することができている。				授業の内容についてふり返りができている。				授業の内容についてふり返りができていない。														

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	看護		科目名	精神看護												第 1 学 期	4 月 ～ 5 月	
単位数	1	学科	看護科	学年	3 年	該当するコース・科 →								●			序章 精神看護のとらえ方 第 1 章 心の健康と発達	
教科書・副教材・（発行所）																		
① 教科書：2024看護学入門精神看護（メヂカルフレンド社）																		
②																		
③																		
④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
①精神看護について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。																		
②精神看護に関する多様な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。																		
③精神看護について、よりよい看護の実践を目指して自ら学び、人々の心身の健康の保持増進に主体的かつ協同的に取り組む態度を養う。																		
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第 2 学 期	8 月 ～ 9 月	第 4 章 主な精神障害者の治療						
	①定期考查の出来具合 考查の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての 1 0 分間小テストを実施			①定期考查毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考查後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考查後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価											
評 価 の 基 準																		
知・技	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）			第 3 学 期	10 月 ～ 11 月	第 5 章 精神障害者の看護 第 6 章 精神保健福祉の変遷 第 7 章 精神保健福祉対策							
				B＋	B－													
知・技	定期考查と小テストの合計得点が 8 0 点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。			定期考查と小テストの合計得点が 5 5 ～ 7 9 点である。	定期考查と小テストの合計得点が 3 0 ～ 5 4 点である。	定期考查と小テストの合計得点が 3 0 点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。			第 3 学 期	12 月 ～ 1 月	第 8 章 精神的健康の保持増進							
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。	探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。													
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。			第 3 学 期	2 月 ～ 3 月							
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。											
0																		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	看護			科目名	看護臨地実習（基礎）					D	学	特	進	進	特	特	看		第1学期	4月 ～ 5月		
単位数	2	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →												●			6月 ～ 7月	
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																						
① ② ③ ④																						
学 習 の 重 点 目 標																						
1) 看護援助の基礎的要素を基盤とした生活の援助活動を学ぶ。 2) 成人期にある対象を総合的に理解し、看護活動の基礎となる知識・態度を学ぶ。 ①看護の基礎的要素を基盤にした日常生活の援助活動を理解する。 ②対象を身体的・精神的・社会的側面から総合的に理解する ③診療の補助の目的を理解し、処置や検査の介助を学ぶ。																						
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度													
評価の趣旨	臨床指導者の評価 評価表を作成して臨床指導者に評価を依頼。各項目について5段階で行う。				記録の評価 記録用紙1，記録用紙2について評価表を作成して評価を行う。				実習態度 ・出席状況 ・積極性 ・言葉遣い ・服装													
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）													
知・技	臨床指導者の評価が80点以上であり、看護援助の基礎的要素を基盤とした生活の援助活動について十分に理解できる。				臨床指導者の評価が55～79点。		臨床指導者の評価のが30～54点。		臨床指導者の評価が30点未満であり、看護援助の基礎的要素を基盤とした生活の援助活動についての理解が不十分である。													
思・判・表	看護援助を十分に理解し、思考の過程を記録することができる。				看護援助について理解し、思考の過程をある程度記録することができる。				看護援助について理解が進まず、思考の過程を記録することができない。													
主体性・態度	看護学生としてふさわしい身だしなみを整え、礼儀正しく、その場にふさわしい言動をとることができる。				身だしなみや礼儀・言動において、他者から指摘された際に素直に受け入れ、改善することができる。				身だしなみや礼儀・言動において、他者から指摘されるが、改善までに時間を要する。													
指導者や教員に報告・連絡・相談を行い、実習に積極的に取り組んでいる。また、遅刻・早退・欠席がない。				指導者や教員に報告・連絡・相談を促すことができる。また、体調が優れないときには必要な対処ができる。				指導者や教員に報告・連絡・相談ををすることができない。また、連絡なしの遅刻・早退・欠席がある。														
総 時 間 数																						70

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	看護			科目名	看護臨地実習（成人）					D	学	特	進	進	特	特	看		第1学期	4月 ～ 5月		
単位数	2	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →												●			学 期	
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																						
①																						
②																						
③																						
④																						
学 習 の 重 点 目 標																						
1) 看護援助の基礎的要素を基盤にした生活の援助活動を学ぶ。 2) 成人期にある対象を総合的に理解し、看護活動の基礎となる知識・態度を学ぶ。 ①対象を身体的・精神的・社会的側面から総合的に理解する。 ②対象の特性を理解し、アセスメント能力を養う。 ③成人期にある対象の特性を知り、必要な援助活動を学ぶ。																						
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度													
評価の趣旨	臨床指導者の評価 評価表を作成して臨床指導者に評価を依頼。各項目について5段階で行う。				記録の評価 評価表を作成し、各提出記録の内容について評価を行う。				実習態度 ・出席状況 ・積極性 ・言葉遣い ・服装													
	評 価 の 基 準																					
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）													
					B＋		B－															
知・技	臨床指導者の評価が80点以上であり、成人期にある対象を身体的・心理的・社会的側面から総合的に理解することができる。				臨床指導者の評価が55～79点。		臨床指導者の評価が30～54点。		臨床指導者の評価が30点未満であり、成人期ににある対象を理解するのに指導を要する。													
思・判・表	受け持ちの患者についてアセスメントを行い、個別性のある援助について理解できる。				受け持ちの患者についてアセスメントを行い、個別性のある援助についてある程度理解できている。				受け持ちの患者についてアセスメントを行い、個別性のある援助について理解が不十分である。													
	適切な専門用語を用い、必要な情報を整理して書くことができ、期日までに提出することができる。				指導があれば適切な専門用語を用い、必要な情報を書くことができ、期日までに提出できる。				期日までに記録提出ができず、また、指導を受けても適切な表現で記録を書くことができない。													
主体性・態度	看護学生としてふさわしい身だしなみを整え、礼儀正しく、その場にふさわしい言動をとることができる。				身だしなみや礼儀・言動において、他者から指摘された際に素直に受け入れ、改善することができる。				身だしなみや礼儀・言動において、他者から指摘されるが、改善までに時間を要する。													
	指導者や教員に報告・連絡・相談を行い、実習に積極的に取り組んでいる。また、遅刻・早退・欠席がない。				指導者や教員に報告・連絡・相談を促すことができる。また、体調が優れないときには必要な対処ができる。				指導者や教員に報告・連絡・相談ををすることができない。また、連絡なしの遅刻・早退・欠席がある。													
総 時 間 数																						70